

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-21

4-I
-21

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ピーク時を想定した緊急受入対応の検討
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	渋滞等予測調査の実施		事業主体	佐渡市建設課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～H34			
事業概要	【事業目的】			
	○ ピーク時を想定した渋滞等予測調査を実施することにより、駐車場や代替交通、仮設トイレ等の整備・検討を行う際の資料とする。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 現況の交通量調査を踏まえ、登録前後の増客想定による渋滞予測を行う。			
事業実績	【事業成果】			
	●平成29年度の調査実施に向けて、関係機関と調整を図った。			
今後の取組・課題	【課題】			
	<p>■ 相川都市計画道路「道遊線」の計画区域と国指定文化財「佐渡金銀山遺跡北沢地区」の区域が重なっており、このままでは世界遺産登録に支障となるため、廃止の方向で手続きを進めており、さらに、他の相川地区長期未着手都市計画道路(3路線)も併せて廃止の方向で手続きを進めている。</p> <p>その手続きの一環として、平成29年度に、県(都市政策課)が事業主体で、計画路線を廃止しても問題がないかどうか将来交通量の推計も含めて道路ネットワークの検証を委託業務で実施することになっており、その委託業務のエリアと「渋滞等予測調査」のエリアが重なるため、県の委託業務の中で「渋滞等予測調査」の内容が実施できるかどうか、県の担当部局とさらに業務内容の詳細な詰めをしなければならない。</p>			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	■ 県(都市政策課)と交通量調査の業務内容について引き続き調整を続けていき、早急に渋滞予測資料を作成する。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a・ b ・c]		◇ H29年度の調査実施に向けて既に関係機関との調整に入り、概ね計画通りに進んでいる。	
	【事業実施の効果】			
事業評価	[a・ b ・c]			
	【総合評価】			
事業評価	[A・ B ・C]			

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。